# 岡本侑也さん応援レポート 読売日本交響楽団 読響サマーフェスティバル2017《三大協奏曲》 2017年8月28日(月) 東京オペラシティ コンサートホール

# 大人気のサマーフェスティバル"夏だ、野心を燃やせ!"

読売日本交響楽団の夏の恒例演奏会、「読響サマーフェスティバル」。毎年チケット完売となる人気企画である。《三大交響曲》と《三大協奏曲》の回があり、《三大交響曲》の回は、数日前に東京芸術劇場で開催された。鈴木優人氏の指揮でシューベルトの「未完成」、ベートーヴェンの「運命」、ドヴォルザークの「新世界から」というプログラム。

岡本さんが出演した《三大協奏曲》の回は、海老原光氏指揮、ヴァイオリン:キム・ボムソリさん、チェロ:岡本さん、ピアノ:ダニール・ハリトーノフさんによる華麗な競演。岡本さんはチェロの名曲中の名曲、ドヴォルザークのチェロ協奏曲を演奏する。

プログラムには『2017年6月にブリュッセルで開かれたエリザベート王妃国際音楽コンクールのチェロ部門で第2位に輝いた、日本期待の新星』との紹介文。読響とは初協演。コンクールのファイナルで弾いたドヴォルザークのチェロ協奏曲、コンクール後、国内では初の披露となり、期待も高まる。







演奏会の会場は、今年、開館20周年を迎えた東京オペラシティコンサートホール・タケミツメモリアル。現代の最新音響技術を用いて設計されたコンサート専用ホールである。『ホール自身が巨大な楽器となり、引き締まった低音とメローで艶のある音色を奏でる』と、響きの良さには定評がある。

# 期待のドヴォコン。まっすぐに。大きく、ゆったりと



印象的な形状のパイプオルガン

ヴァイオリン・チェロ・ピアノ、それぞれの協奏曲3曲という構成による充実のプログラム。毎年、若手ソリストが抜擢されており、過去の出演者には財団奨学生〇Bの名前も見られる。

今年は、「夏だ、野心を燃やせ!」とのサブタイトルのもと、ヴァイオリンは韓国生まれのキム・ボムソリさん、チェロはエリザベート国際コンクールでの記憶も新しい岡本さん、ピアノはサハリン生まれのダニール・ハリトーノフさんと、国際色も豊かなラインナップとなった。

キム・ボムソリさんのメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲で演奏会がスタート。愛される名曲を表情豊かな美音で表現。

続いて岡本さん登場。チェロの名曲中の名曲といわれるドヴォルザークのチェロ協奏曲。米国に招聘され、故郷ボヘミアを離れたドヴォルザークが、望郷の思いを込めて作曲したという曲だ。

安定感のある。澄んだ、クリアな音色。穏やかに落ち着きに満ちた様子で弾いていく岡本さん。温かみある演奏に、聴き入ってしまう。

どなたかが、岡本さんの演奏を『正統派』と称されていたが、まさにそのとおり。大きく、ゆったりと。 民族色を感じさせる旋律ではじまるラストの第3楽章。コンサートマスターのヴァイオリンとの掛け合いも美しく。オーケストラとの一体感のもと、ラストに向けてぐっと盛り上がっての終演だった。

客席のみなさんの熱い大きな拍手。ブラヴォーの 声が何度も飛び交い、凱旋公演は大成功。



三大協奏曲プログラムのラストは、ダニール・ハリトーノフさんによるチャイコフスキーのピアノ協奏曲。こちらも人気も高い名曲だ。雄大に始まる曲をスケール感もたっぷりに。

読売日本交響楽団のみなさんの素晴らしいオーケストラとともに、それぞれの名曲を、 3人が想いを込めて聴かせてくれた演奏会。大変な熱気のなか終演した。

### 解釈をより深め、エネルギー溢れるドヴォコンを目指していきたい



終演後、マエストロと当日のソリストのみなさんと@楽屋

「・・・ドヴォルザークのコンチェルトは、向き合えば向き合うほど、曲の果てしないスケールと深さに圧倒されます。今回は、以前弾かせていただいた時よりも、濃い民族色を感じさせるような演奏を目指したいと思います」、「オペラシティで演奏させていただくのは日本音楽コンクール以来、実に5年ぶりですので非常に楽しみです。原点に戻るような、気が引き締まる思いです。体調管理などには十分に気を付けて、本番は思い切り楽しみたいと思います」と話してくれていた岡本さん。

5月のエリザベート王妃国際音楽コンクール、ファイナルでドヴォコンを選曲し、入賞したのは岡本さん一人(他の入賞者はみなショスタコーヴィチ)。 譜面を読み解き、曲に寄り添い、自らが目指すドヴォ

譜面を読み解き、曲に寄り添い、自らが目指すドヴォコンへと、着実に近付いていっているのだろう。

終演後には、「・・・この曲に対する解釈をより深めて、オーケストラをもっと引っ張ることのできるようなエネルギーを養っていきたいと思います」とも語ってくれた。



#### 岡本さん、素敵な演奏でした。また聴かせてください!

#### <演奏会概要>

◆出演

指揮=海老原 光 ヴァイオリン=キム・ボムソリ チェロ=岡本 侑也 ピアノ=ダニール・ハリトーノフ

◆曲目

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 作品104 チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23